

## 教育テレビ 12 月 29 日（月）の放送時間短縮について

12 月 29 日（月）、NHK は自ら、教育テレビの放送時間を短縮し、電力節減による CO<sub>2</sub> を削減する試みと、総合・教育両波での環境関連番組の編成を通して、「地球環境を考える一日」にしたいと思います。

NHK は、温室効果ガス削減への取り組みを定めた京都議定書に則り、「環境自主行動計画」を定め、オフィスの節電だけでなく、蓄熱式空調システムの導入や自然エネルギーの活用など、さまざまな CO<sub>2</sub> を出さない環境に配慮した取り組みを進めると同時に、一人でも多くの方が、地球環境問題を人類共通の課題として関心を持ち、問題解決に向けた取り組みに関わっていただけるように、放送やイベントに積極的に取り組んでいます。

今回おこなう「放送時間の短縮」の目的は、日常のさまざまな節電努力に留まることなく、さらに一步踏み込み、NHK の本来業務である放送を、自ら短縮することで、『毎日の放送をおこなうためには、多くの電力を必要とし、多量の CO<sub>2</sub> を排出していること』を「送り手」である NHK と「受け手」である視聴者双方がともにあらためて自覚し、電力節減、CO<sub>2</sub> 削減への取り組みをさらに広げようというところにあります。

12 月 29 日（月）の放送時間は、後 0：30～9：30 の 9 時間です。定時の放送時間と比べた場合、前 5：00～後 0：30 と後 9：30～翌日前 2：50、合計 12 時間 50 分短縮することになります。放送休止中は、アナログ放送の全国約 3,100 箇所を送信所で電波を停めることで、定時放送をおこなっている日に比べ、約 17,000kWh の節電、CO<sub>2</sub> 約 9.4 トンの削減となります。（別紙参照）

12 月 29 日（月）には、教育テレビの放送時間を短縮するだけでなく、NHK が取り組んできた「地球エコ 2008 キャンペーン SAVE THE FUTURE」の 1 年の締めくくりにふさわしい環境関連番組を、総合と教育、二つのメディアで放送します。環境へのメッセージを募るなど、視聴者のみなさんといっしょに地球環境保護について考えていきます。

12/29(月)	
教育	総合
前	
5	
6	
7	(年末特集等)
8	
9	
10	NHKスペシャル 「地球と生命の大紀行」 (後編)
11	(年末特集等)
後	
0	プロローグ・会長に聞く (E-G同時)
1	
2	(年末特集等)
3	
4	
5	第6回ミニミニ映像 グランプリ決定(再) (テーマ・環境)
6	(年末特集等)
7	
8	SAVE THE FUTURE 「世界の絵本作家 からの贈り物」
9	SAVE THE FUTURE 「ようこそ低炭素社会へ」
10	(年末年始特集等)
11	環境NPOの 10年 ～apbankの挑戦～
前	
0	デジタルスタジアム ～エコロジー作品特集～
1	
2	
3	(年末年始特集等)
4	

(放送休止)

特集・どうする？地球のあした  
～親子で環境を考える二日間～

プロローグ・会長に聞く

NHK手話ニュース

ど～する？  
地球のあした・選ほか

(定時番組)

NHK手話ニュース845

エピローグ・ご意見紹介

(放送休止)

12月29日(月)教育テレビ放送時間短縮 編成表

**どうする？地球のあした**  
～親子で環境を考える二日間～

12月29日(月) 教育テレビ

後0:30~0:50 プロローグ  
後0:50~1:00 会長に聞く・このあとの番組紹介  
(E-G同時)

後1:05~2:50 どうする？地球のあした選ほか

後9:00~9:30 視聴者からのメッセージ  
～エピローグ～

12月30日(火) 教育テレビ

後1:05~2:50 どうする？地球のあした選ほか